

審査項目及び配点

No	審査	事務局 評価	委員 評価	審査要素	項目	審査ポイント・採点方法	配点						
							小計	点数					
1	1次審査 (事務局)	○		実績	業務実績調書	・過去5年間(令和2年度から令和6年度)における官公庁における住宅管理システム構築および運用保守業務の実績件数	実績1件当たり10点で評価する。 構築と運用保守で10点。構築のみ、又は運用保守のみは5点。 ※配点を上限とする。	70	50				
2					業務実施体制	・管理技術者(管理責任者)は、官公庁における住宅管理システム構築業務における十分なマネジメント実績が存在するか。	実績1件当たり2点で評価する。 ※配点を上限とする。		10				
3						・技術担当者は、官公庁における住宅管理システム構築業務における十分な作業実績が存在するか。	実績1件当たり2点で評価する。 ※配点を上限とする。		10				
4	2次審査 (委員審査(一部事務局審査))	○		機能適合性	機能要件書	本市が求めるシステム機能要件をどれだけ満たしているか。 ・評価◎～×が占める割合を定量的に審査 ・評価○～△について、具体的な対応方法が記載されているか。 ・評価×について、「法改正により不要な要件になる」等の正当な理由であるか。 -----記号の定義----- ◎:パッケージ標準対応 ○:パッケージ標準+EUC対応 及び 代替運用 △:カスタマイズ対応 ×:対応不可	(配点/全機能数)×各評価の数×各評価の倍率で採点する。 評価◎:1.0倍 評価○:0.7倍 評価△:0.1倍 評価×:0倍 ※ 評価○～△について、具体的な対応方法が記載されていない場合は、1個当たり-3点で減点する。 ※ 評価×について、正当な理由が記載されていない場合は、1個当たり-3点で減点する。 ※小数点以下四捨五入	200	200				
5					見積書	見積費用	・導入金額に係る見積額を定量的に審査	下記の計算式で点数を算出する。 最低見積費用 ^{※1} /見積費用×配点 ※小数点以下四捨五入	150	100			
6							・保守(令和8年度～令和12年度)の見積額の合計を定量的に審査	下記の計算式で点数を算出する。 最低見積費用 ^{※1} /見積費用×配点 ※小数点以下四捨五入		50			
7					2次審査 (委員審査(一部事務局審査))	○		提案書	基本方針	・本業務の趣旨および仕様書の内容を理解した上で、適切な基本方針が示されているか。 ・基本方針が簡潔に記載されているか。		380	30
8									構築スケジュールおよび進捗管理手法	・本業務を計画的に進めるための具体的なスケジュールが示されているか。 ・プロジェクトを円滑に進めるための工夫や有効な進捗管理手法が提案されているか。 ・旧システムからの移行に関して十分な検討が示されているか。 ・意識すべきマイルストーンが適切か。 ・どの時期に、特に本市の参画が必要か示されているか。			50
9									構築体制	・本業務遂行のための作業実施体制が示されているか。 ・担当者や責任者の配置及び緊急時の対応や連絡先が整備されているか。			30
10	システムの安全性	・セキュリティ対策が十分に検討され、それが示されているか。 ・ログの管理などセキュリティに関する機能を有しているか。		30									
11	操作研修	・システム定着に向けて合理的な運用支援施策や研修方法、研修体制、研修内容について明確に示されているか。 ・職員が操作に困った際のサポート体制は十分か。 ・ICTの知識の乏しい職員にも理解しやすいものとなっているか。		50									
12	システム保守	・システム保守、ヘルプデスクなどのサポート体制、サービス内容及び対応時間等について十分な保守体制が提案されているか。		60									
13	システム運用支援	・将来的な法改正、バージョンアップ等への対応等の作業負担、費用負担を軽減できるシステムとなっているか。		30									
14	システムの拡張性	・コンビニ収納、eL-QR納付、口座振替など、今後導入を検討する納付方法について、対応できるシステムとなっているか。		30									
15	仕様書との相違	・提案内容と仕様書の内容に相違がある場合には、その箇所と理由が記載されているか。 ・相違する理由は、本市にとって有益な内容となっているか。		20									
16	その他有益な提案	・仕様書の内容以外で、見積の範囲内で有益な提案が記載されているか。		20									
17	2次審査 (委員審査(一部事務局審査))	○		情報マネジメント	・ISMSやプライバシーマークを取得しているか。	ISMS取得:5点 プライバシーマーク取得:5点	400	10					
18					企業経営の健全性	・企業の経営が健全であるか。 ・単年度の経常利益において確認する。		直近3年の黒字幅に伸びがある…A評価(20点) 直近3年連続黒字…B評価(15点) 直近3年に1回でも赤字がある…C評価(10点) 直近2年連続赤字…D評価(5点) 直近3年連続赤字…E評価(0点)	20				
19	2次審査 (委員審査(一部事務局審査))	○		プレゼンテーション及び製品デモ	資料作成力・説得力・取組み姿勢	・本市の状況を理解した上でのプレゼンの内容となっているか。		400	40				
20						・質問への回答は、簡潔で分かりやすいものか。 ・コミュニケーションがスムーズにとれるか。			40				
21					操作性	・直観的にわかりやすい操作性になっているか。 ・効率的な作業ができる工夫があるか。 ・複数画面を表示できるか。			60				
22							・データ入力処理について、入力補助機能、入力チェック機能等入力ミスを防ぐ工夫がされているか。			60			
23						・特記事項管理や入力者に注意を促す機能など、業務改善につながる機能があるか。			60				
24					画面構成	・画面構成、画面色など見やすいものとなっているか。 ・画面設計のコンセプトが明確で本市にとって有用であるか。			60				
25					サポート機能・見やすさ	・製品デモで確認した機能は、本市の業務に活用できるか。			40				
26							・ガイド機能、ヘルプ機能等、便利な機能やサポート機能はあるか。			40			
							合計	1200					

※1 全希望業者から提示された見積費用のうち最も低い見積費用を指す。